

# 『天文教育』アンケート 結果報告

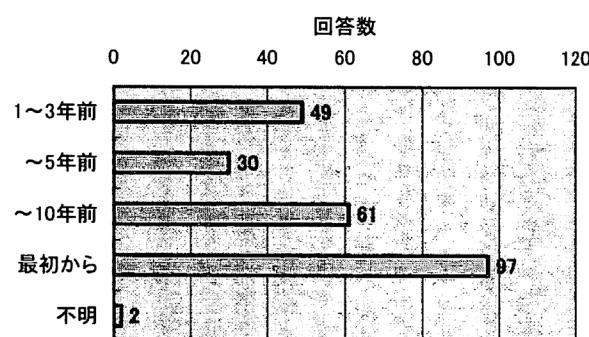
天文教育普及研究会会長 & 天文教育編集部

集計期限までの回答総数：239

% \_\_\_\_\_

質問1：「天文教育」をいつ頃から読まれていますか？

質問1：「天文教育」をいつ頃から読まれていますか？

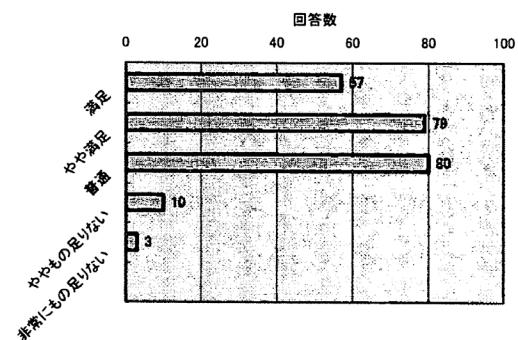


% \_\_\_\_\_

質問2 「天文教育」の内容に満足されていますか？

1. 満足, 2. やや満足, 3. 普通, 4. ややもの足りない,
5. 非常にもの足りない, 6. その他,

質問2「天文教育」の内容に満足されていますか？



◇小中の星の学習に対して、非常にもの足りない。

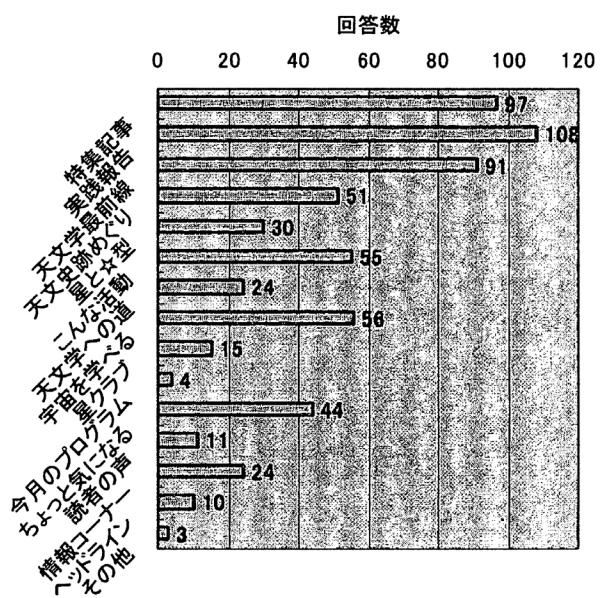
% \_\_\_\_\_

質問3：この1年ほどの記事では、どのような内容に興味を持たれましたか？（複数回答可）

1. 特集記事, 2. 実践報告, 3. 天文学最前線,
4. 天文史跡めぐり, 5. 星と☆型, 6. こんな活動やってます,
7. 天文学への道, 8. 宇宙を学ぶ大学, 9. 星クラブ,
10. 今月のプログラム, 11. ちょっと気になる天文用語,
12. 読者の声, 13. 情報コーナー, 14. ヘッドライン,

15. その他,

質問3：興味を持った内容



◇過去に観る天文学と教育

◇ノーベル賞の解説記事

◇vol15. No2. p. 40 の記事は非常によかった。

◇教育カリキュラム

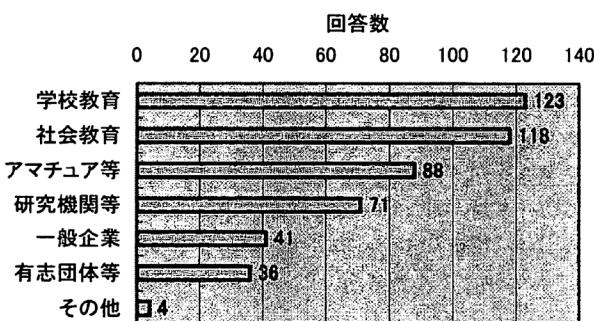
◇指導要領改訂に関する学校教育現場の特集が非常によかった。

% \_\_\_\_\_

質問4-1:取り上げてほしい関連機関・施設・団体

1. 学校教育関係(小中高), 2. 社会教育施設関係,
3. アマチュア・市民団体関係, 4. 大学・研究機関,
5. 一般企業関係(出版社・天文関連企業等),
6. 有志団体・プロジェクト, 7. その他,

## 質問4-1:取り上げてほしい関連機関・施設・団体

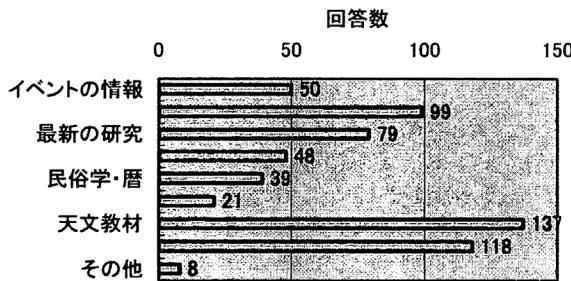


◇NHKなど、テレビ・ラジオでの天文学放映のPR  
マスコミュニケーション関係（から見た天文教育）

## 質問4-2:取り上げてほしい内容

1. イベントの最新情報・案内, 2. 活動・イベント等の実践報告,
3. 最新の天文学研究, 4. 天文学史, 5. 民俗学・暦,
6. 宇宙開発, 7. 天文教材,
8. 機関・学校・施設等の現状、運営上の工夫点・問題点,
9. その他,

## 質問4-2:取り上げてほしい内容



- ◇学校教育の問題点と今後の対応。次の教育課程改訂に向けて。  
 ◇天文教育の実践報告  
 ◇他分野の教育手法の紹介（例：物理、化学、歴史、生物、文学）  
 ◇デジカメを用いた天体写真、ビデオでの天体撮影。  
 ◇公開天文台の閉館等による現地調査。プラネタリウムを含め。特に合併による悪影響について。  
 ◇新刊紹介と書評（ほぼ完全なリスト（現状）でも満足していますが）  
 ◇アマチュア、市民団体の普及・地域活動の歴史。  
 ◇書評、評論。（天文教育に関する哲学の不足）。  
 ◇原著論文が2~3本、毎回のるようになってほしい。  
 ◇（イベントの案内などは）メールにいざれ一本化してはどうでしょうか。

◇天文月報との差を出して欲しい（既に出てますが）。

% \_\_\_\_\_

## 質問5-1:本文は読みやすいですか？

1. 読みやすい,
2. 読みにくい,

## 質問5-2:画像は見やすいですか？

1. 見やすい,
2. 見にくい,

◇厚すぎる。内容を整理した方がよい。

◇フォントサイズが大きい。あと1~2ptくらい下げてもOK。

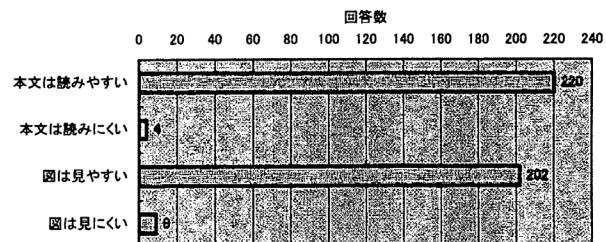
◇ポイントの問題。インクと紙色があつたないように思う。

部分的にはむづかしすぎる内容もある。（これは個人のレベルの問題です。）

◇写真はやや荒いと感じる（印刷だからしかたがないかも）。

質問5-1:本文は読みやすいですか？

質問5-2:図は見やすいですか？



◇ドットがあらい。コントラストがよわい。

◇カラー画像に慣れているためか？

◇白黒なので（見にくい）。

◇冊子が小さい（←これはしかたがないと思います）。

◇（見やすい）。しかし、図が小さくてみににくいものあり（Vol. 14, No5, p64）

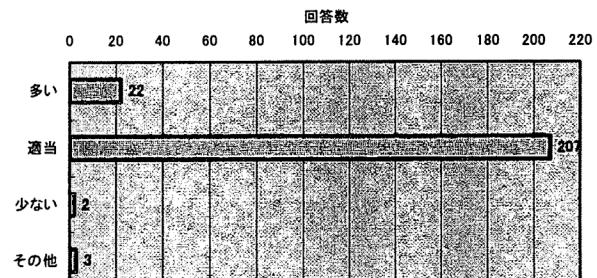
◇写真はみやすいですが、ステラナビゲーターなどによる図は見にくい。

◇クリアです。ただ、プライベートな写真は遠慮いただきたい。

% \_\_\_\_\_

## 質問6:隔月（奇数月）発行されていますが、回数は適当ですか？

質問6:隔月（奇数月）の発行回数は適当ですか？



◇（少ない）イベントニュースが遅れる。原則は月刊。

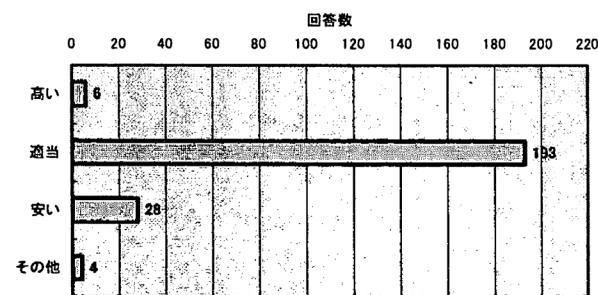
◇情報コーナーの鮮度という点では少ないが、現状の体制では仕方ないと思う。

- ◇内容がより精査されるのなら、発行回数が少なくなつてもかまわない。  
 ◇編集委員の苦労を考えると減らしてもよいと思います。  
 ◇年4回でもOK。  
 ◇季刊でもよい?

% \_\_\_\_\_

質問7：会員以外に対しても定価500円で販売していますが、値段は適当ですか？

質問7. 定価500円の値段は適当ですか？



- ◇今の内容に対して500円。安いと思いますが、値上げして購入者が減るのでは？会以外にどれくらい売れているのかな？  
 ◇よくわかりません。どれくらい売れているのでしょうか？  
 ◇どのくらい買う人がいるかで、値段は変わると思います。  
 ◇300～400円。  
 ◇赤字にならない金額ならよい。  
 ◇大学の図書館にはいっていないようで残念。本来は買ってもらうべきだが、天文台、東大、東北大、名大、京大や教育大などに寄贈してはどうか。

% \_\_\_\_\_

質問8：その他、「天文教育」についてご意見があればお書きください。

- ◇今の版はB5ですが、A4としてもよいのでは？教育関係にA判が普及していれば、紙面増大によるメリットもあってよいと思う。  
 ◇いろいろな天文関連施設の現状と課題などを全国的に紹介してもらってはどうでしょうか？また、全国各地での天文イベントを盛り上げる工夫も紹介してほしい。  
 ◇小中の星の学習レベルが下がってきてているのでは？小中の先生が購入したり記事を掲載していけば。  
 ◇できるだけ多くの会員の文章を読みたいと思っています。難しいことは思いますが、執筆者を発掘する努力を、今後も続けて下さるようお願いします。  
 ◇学校クラブや地域活動は会員でなくとも当事者の学生さんやアマチュアの方に書いてもらったりフィーチャーしては？<天文教育の業界誌では面白くありませんので…>  
 ◇学校教育において、「天文」分野を含め、地学領域の普及が足りないために、カリキュラムにおいて、それらの削減が、指導要領改訂のたび、行われているようです。研究及び社会教育発展のためにも、学校教育の果たす役割は大きいものと思われま

す。従つて、自分を含め「学校教育分野」の方々が、もう少し表へ出なければと痛感しています。

◇より研究者と教育に従事する人たちの交流を望みます。たとえば、講演会などの資金補助などをお考え下されば、会の存在意義になると思います。なお、将来「NPO」法人等への法政組織化が望まれませんでしょうか？

◇連載やシリーズがかなり乱立している気がします。裏にも書きましたが、もっと整理してもよいと思います。もちろん、各シリーズ魅力的なものであることは評価しています。

◇全体に情報提供的な内容になっているように思います。バランス上、天文の基礎を掘り下げて深めるような記事も希望。「天文に関する基礎的な考え方、その分野のうんちくのあるお話し」、「Q/Aコーナー」などは？

◇（質問が自由にできる状況の中で）質問に答える欄があればよいと思います。

◇掲載される論文等のレベルが、教育関係、大学のものとしては低いのではないかと考えます。日本の教員養成を主として行っている大学から、この程度のものしか出てこない事が、天文教育のレベル向上につながらないのではないかと思います。

◇多少自己満足な冊子になっていると思います。また、インターネットが普及しているいま、あえてペーパーメディアで出しているのであれば、ペーパーメディアならではの特色が必要だと思います。天文教育の内容は、一部の人には必要ですがその他の人には必要でない部分もあり、人によって異なります。そういう情報は（取捨選択できる）Webコンテンツとなることが今の流れではないでしょうか。内容の整理が必要です。

◇たとえば天文学の最新の解説記事でも、すぐに各教育現場で役に立つような観点で解説していただくなど、「天文教育普及」に密着した内容であって欲しいと思います。

◇教育実践がどれだけの成果を挙げたか、事後評価と反省が殆どない。「天文教育」の表紙はコミック本と似ている。星座神話は天文学ではない。気象関係を取り上げるなら、地質、岩石、海洋の記事も投稿していくことになる。やたらにカタカナ語を多用する筆者が居る。

◇先日、プラネタリウムの研究会で、プラネの個性が大切、という話があった。社会教育施設の個性アピールを中心とした連載記事はどうでしょう。業界内でも、自分が行ったことがない所についてはよく知らないというのが現実だと思いますので。

◇投稿論文がrefereedにならないのが残念。地学教育等への投稿になってしまふかも知れないが、教育実践がrefereed journalとみとめられるようにならないか。

◇表紙を工夫してほしい。（白黒マンガが表紙だと、人前では何の本かわからず読んでいてはずかしい。）

◇表紙のイラストをかいていただいているご苦労は大変だと思うが、ギリシャ神話のマンガの様なイラストはどうかと思う。山田氏のイラストは非常によかったです。天体写真を加工したようなものでもよいのではないか。「天文教育」のイメージと関わる所なので検討を。

◇一時マンガが連載されていたが、これは大反対。今後も載せないで欲しい。学術誌（天文教育も学術誌のはしきれと思っている）に漫画の連載など、恥ずかしくて話ができない。電車の中で読むこともできない。表紙の漫画的なイラストもやめて下さい。退会したくなる。

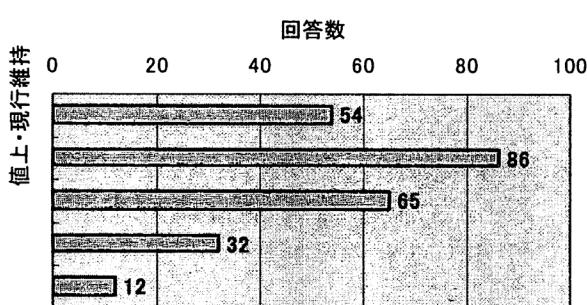
◇表紙イラストのセンスがよい。  
 ◇他の商業誌や、プラネタリウム団体の会報とは違う情報が得られるように工夫されていると感じている。  
 ◇何の協力もできない単なる会員ですので、何かと述べる資格はありませんが、本やソフトの紹介はいつも関心を持って見ていています。簡単な紹介があるといいなと思いますが、誰が書くのかというもんだいがありますので、現状でよしとしなければと思っています。  
 ◇背表紙をぜひつけてください。  
 ◇2穴の体裁にしてほしい。(個人でパンチするには厚口なので…)  
 ◇いつも盛りだくさんの内容に感謝しております。  
 ◇ここ1年くらい大変よくなりました。が、かなりのご苦労があると思います。  
 ◇最近非常に充実してきていると思います。  
 ◇誤字がもう少し少なければ言うことなし！  
 ◇ギリギリで、文句を言いながら出版しているようでは×です。

% \_\_\_\_\_

#### 質問9：編集について

1. 会費を値上げしても、現在のレベル（発行回数と印刷クオリティ）を保つべき、
2. 会費を値上げせず、発行回数を減らす、
3. 会費を値上げせず、ページ数を減らす、
4. 会費を値上げせず、印刷クオリティを下げる、 5. その他、

#### 質問9：会費と編集方針について



◇ページ数を減らすが、内容を減らしてもらいたくはない。紙質をもう少し下げてもよいと思います。  
 ◇精選してページ数を減らす。  
 ◇売れ部数を増やす工夫をしたい。  
 ◇負担軽減とクオリティ定価の量によるので何とも言えない。クオリティ定価が少しですむならそうすべき。  
 ◇編集委員を増やす。  
 ◇電子的にメール、PDFなどで出せそうなものを活用する。印刷物としての発行は、その分減らす。  
 ◇E-mailを利用。印刷せず、電子ファイルとして配信。  
 ◇他の学会の会誌に比べるとかなりボリュームがある。もっと絞るか、各内容について、4ページもの、2ページものと制限をつけてもいいのでは。  
 ◇カラー化に力を注いでは。  
 ◇現状で質を下げたままにすることは反対です。

◇会費少々値上げ、発行回数（&ページ数）減、というところでしょうか。

◇体裁を重視すると中味などどうでもよくなる。頁数を確保するためつまらない記事を埋め草にする。

◇広告を増やす。誌上通販等行い、収入のチャンネルを増やす。

◇広告をもっと取り入れる。会員を増やす努力をする。

◇季刊ではどうでしょうか（6が4になりますが）。速報性はMLやWebで対応してはどうでしょうか？

◇3ヶ月に1回でもよいのでは？ページ数も少し減ってもいいです。具体的にどのくらい上がるのか提示がないと答えにくい面もあります。

◇法人から多くとるなど

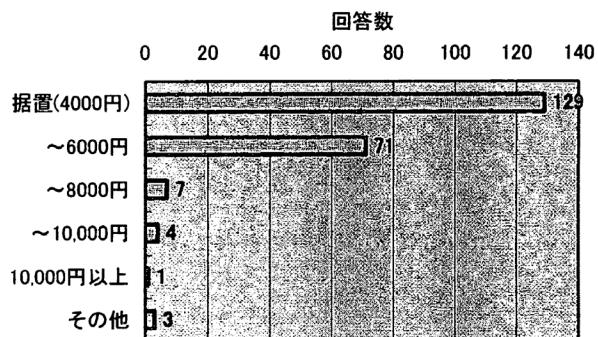
◇原稿がデジタルデータなので、各支部毎に編集委員を設けて、規定のフォーマットにおさめたデータを集めて、最終的にまとめるという形にすると、現在の編集委員の負担が少なくなるのではないか。あるいは、多少のクオリティを下げても、投稿者にフォーマットを伝えて、そのデータをそのまま使うなど。

% \_\_\_\_\_

#### 質問10：会費値上げについて

1. 現在のままが良い,
2. 値上げしてもよい（～6000円）,
3. 同（～8000円）,
4. 同（～10,000円）,
5. 同（10,000円以上）,
6. その他,

#### 質問10：会費について



◇2000円値上げで120万円。6分冊で、1冊分20万円。これなら外注可ではないか？

◇団体会員は据置下さい。

◇現状維持か、値下げの方向だと思います。コストを安くする方法をとるしかないと思います。

◇物みなディスカウントする時代に、値上げで何とかしようというのは智恵がない。

◇8000円でも個人的にはよいが、退会者が出るとおもわれるから（～6000円）。

◇学生会員は廃止（特権階級）。

◇年会費の使用明細が今わからないので答えられません。

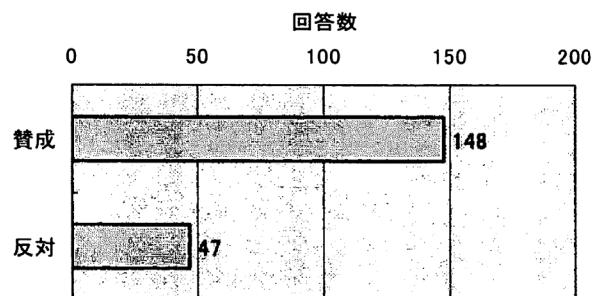
◇会費が上がらなくて済むならその方がよい。上げても5000円（これでも25%up）。いきなり倍とかはきついと思う。他のやりかたで（オリジナル商品販売など）収入を増やす、ダメな場合は値上げ。

◇収入は減る一方なので…(現在のままがよい)。

% \_\_\_\_\_

**質問11: 天文教育普及研究会のオリジナル商品を販売について**

**質問11: 当会のオリジナル商品販売について**



◇目的を取り違えている?

◇研究会にはなじまない。

◇会本来の目的からそれていくような気がする。

◇商品として付加価値が得られるだけのネームバリューが得られるようになってからの方がよい。書籍出版で一定割合の印税を会に納入するといった形での、継続的に収入が得られる手段を検討しては?

◇企画・営業・販売はDTPより大変だと思います。

◇労力が必要な割に利益は上がりにくいのではないか。

◇開発費は? 売れるアテはあるのか?

◇在庫等管理の手間がふくらむのではという心配がある。

◇結局経費だけかかってしまいそう。

◇ただし手間がかからなければよいのですが。

◇しかし、人手がまた必要になるのでは?

◇販売が負担になるのでは?

◇マンパワーが確保できるならやってもよいが、とてもできるとは思えない。

◇おもしろいのがあれば嬉しくはありますが、雑務がふえるのは大丈夫でしょうか?

◇別の負担が増えるのでは?

◇本当にかかるのか?

◇売れる商品がありますか?

◇売れるとは思わない。

◇どのくらい売れるのか、やや不安です。

◇それほど大きな利益があることは見込めず、かえって関連業務の負担の方が大変である。

◇商売はカケである。成功もあれば失敗もある。

◇商品などを作ること自体にお金がかかって、運営費確保にならないのではないか?

◇売れなかつた場合が恐いです。

◇本当に利益ができるか? 疑問。

◇体制、財政の面でリスクが高いのではないか。

◇リスクがおおきいので、商品アイデアが具体的にない段階では判断できません。

◇営利目的となると在庫にも税金がかかるようになるため、本気で商売をするつもりでやらないと破綻します。専従職員もないような現状では、そのようなことを考えるべきではないと

思われます。

◇多角経営でバブル後屋台骨が揺らいだ企業がある。武家の商法はあぶない。

◇ただ、どのくらい売れるのかにかかり、赤字となる場合も考えられよう。充分な検討を。

◇開発製作費をペイできない危険性。

◇売れるかどうか未知数。たぶん売れないような気がする。

◇オリジナル商品を無理なく作るのはむずかしのでは? 逆に費用がかかると思います。

◇資金になる程“売れる”商品が開発できるでしょうか? 宣伝しなければ売れませんし、会員の中だけではどの程度売れるか心配です。

◇良いものがあれば検討してもよいと思いますが、売れなければ逆に負債となります。慎重に考えてください。考えているようには売れないものです。

◇人件費、製造費、販売コストで十分採算がとれるならやってもよいと思いますが、そもそもマーケットが大きないので、仕事が増えるだけのような気もします。(普及書の出版はもうかるかも)。あと、運営費をこういった費用でまかなうのはどうかと思います。やはり会費が大切です。

◇反対はしませんが、販売には在庫管理等に人手がかかること、初期の売り上げが達成できないときのリスク等の問題が伴うことをよくご検討のほどを。なお、別途、広告料収入をもっと図られては如何ですか。

◇ポストカードなどは元手がかかります。あれば便利な、実用品がよい。

◇しかし、何をを考えると一寸思いつきません。独自のものを考えるとむずかしいですね。

◇本気で作られるなら、デザインなどよく考えられ、売りに出しても恥ずかしくないものにして下さい。

◇ただし、大変ではありませんか? 事務局も変わると思いますので。

◇商品を作った場合、確実に売れなければかえって負担になる。

◇売れるのものであればよいのではないかでしょうか。

◇天体写真、CD-ROM、天文関係のビデオ

◇学校向けカレンダー

◇バッジ、ネクタイピン、アクセサリーなど。

◇Tシャツ。開始への広告の飲食店を含む一般的なものへの積極的拡大。

◇Tシャツ、バッグ(キャラバンのような布のもの、エコバッグのようなタイプ)など。布地などはあまり安いものにせず、長持ちするものにして、値段も安めにしないほうがよいのでは。野鳥の会が毎年売るTシャツやグッズはデザイン、長持ち、ともにすばらしい。

◇ポストカード、シール、ピンバッジ。

◇大会用のTシャツやオリジナルクリアファイルなど。

◇教材研究の参考になるものが手に入ればよいと思う。

◇天文台ロゴ作成。

◇下敷きなど文房具、絵葉書

◇天文観測グッズ等

◇天文ソフトなど。

◇星の観察会開催参加賞として、星座エンピツ、蛍光消しゴム etc、好評ですが、探してくるのに苦労している。

◇手作りキットを天文施設におろすのがよいかと思う。なるべく安いコストで大量に生産できるもの。

◇内容によっては単行本になりそうなものもあり、広く販売して収益をあげ、また、研究会の存在をしらしめることもできると考えます。

◇天文教室や学校の授業の中で実際に製作しながら完成後に楽しめるもの。

◇教育用教材など面白いものを販売したらよい。

◇ただし、グッズ、すなわちもうけとは思えない。写真集、星表、星座早見、望遠鏡キットなど、どこでも使うものがよいのでは。

◇実践報告などにある教材などの商品（キット）化。小中高で使える天文分野の指導書出版。

◇天文教材（（月、星座）～早見盤）など、（惑星を模した）バッジなど

◇グッズだけでなく実用的、教育的なものを。例えば、手作り望遠鏡用レンズや遮光板など。ただ、あまり量は見込めないので、無理せずに…。

◇自由な発想で取り組んでみるのもよいと思います。「普及」を入れたわけですので、「官のニオイ」を消す（バランスをとる）意味でも。

◇目的に十分な利益が上がるとは思いにくいため。特定会員に商品開発・運用・管理の負担がかかるのは本末転倒。

◇教材開発、実践報告集など、需要があるだろう。

◇会員の葛生の成果を広く伝えるという意味も考えて欲しい。

◇中学・高校の教材開発・VTR作成などはいかがでしょうか。

◇分光計キットとかはもうあるんでしたっけ？教育教材がよいと思います。

◇書籍など

◇それは書籍でしょうか？それならば賛成です。ステッカーetcならば、会員以外購入する人はいないと思われます。

◇数々の活動報告があるのでから、商品として販売できるものがあるハズ。成果を広めるという意味を考えると、積極的にやるべき。

◇今まで、理科の実験、観察に使用する教材、備品は大変効果に感じます（いつ売れるかわからない状況で考えてみても）。そこで、研究会員のオリジナル教材をお互いに使える環境をつくっていってはどうでしょうか。もちろん教材費として商品化するのです。安価に越したことはありません。安いもの程今の時代、購入しやすくなります。一度ご検討下さい。

◇グッズがあると、より会への親しみが湧きます。ストラップ、クリアファイル（でも、デザイン化がまた大変な作業でしょうか…）

◇どんな商品化によって考えが変わります。

◇賛成とは書いたが、販売コスト、宣伝費などで採算がとれるならば賛成。

◇日本天文学会でも教材開発委員会すでに既に活動しています。製造請負業者の確保や流通ルートの確保などで難問も多いので、共同とか協力申し入れから始めてはどうでしょうか。

◇よいと思いますが、それが負担増になるなら問題かもしません。

◇学校教育関係者（分野としての「学校教育」ではなく、現場の教師という意味）の増員の件は、具体的な候補者はみつかつ

たのでしょうか？

◇学校の授業や施設のイベントで活用できるものなら利用価値があるのでは？

◇実際の運営費確保につながるなら賛成。

◇質問ですが、販路は社会教育機関などになるのですか？

◇天文教育普及のためならよいが、運営費確保のために新しい作業を増やすのでは、かえって運営がたいへんになるのではないか。

◇天文学会の教材委員会と連携していくべき。

◇多くの需要が期待できればそれも可。

◇（いざれとも言えないが）オリジナル商品とは何を指すのか？

◇黒字になる見通しが立つのであれば賛成します。

◇収入を得るために別の手法を考えては道でしょう。例。生協のように天文関連書やソフトなどを斡旋し出版元からリベートを得る。当会が出版社にとって魅力ある販売チャネルになるアイデアを考えてはどうでしょうか。むろん、発送、支払い業務にはタッチしません。例。会報の新刊紹介に申し込み用紙を添え、Faxで直接出版元へ各人が発注する。オリジナル商品のリスク…開発費（労力・時間）営業費、在庫負担、継続性のリスクが伴います。アイデンティティーとしては面白く、スポットではよいでしょうが、利益を前提には難しいのでは。

◇手前みそになりますが、第10回天文教育研究会で小生が発表した「世界各都市時刻早見盤」を販売してはどうでしょう。今まで発売されていないのが不思議なくらいです。

◇どちらとも言えません。新しい天文教材があればいいと思う反面、商品開発に負担がかかりすぎるのでは、と思われます。

◇担当を巡回させ、無理が生じるから（反対）。

◇地方にいても入手が容易となる方法をお願いします。

◇商品の普及により、天文が広く認知されることになる。

◇事務局の方々の負担を増やすだけになるのでは？

◇編集部の皆様、御研究や御仕事と共に編集作業（原稿依頼等の事務連絡含）、役員選挙、会費の納入状況等々、会員数が非常に多い中、きちんとこなすのは本当に大変なことだと思います。いつもありがとうございます。体制についてはよくわかりませんが、外注等をされて負担を軽減されるのはよいことと思います。会誌については（申し訳ないのですが）じっくり全部読みきらないうちに次号が来ている状況です。最初のころのタブロイド版のような会報の量くらいが有難いのですが…。

%

質問12：その他、編集部の体制などについて、ご意見などご自由にお書きください。

◇毎回ハイクオリティな本を出版されていることに敬意を表します。ただ、単行形式でないため、記事を参照することが（現物をもっていない限り）難しいと思います。多くの方が興味を持つ内容を単行化したり、差し支えないものをウェブへ掲載するなどして、付加価値を高めるようにしてもよいのではないでしょうか？

◇大変読みやすく質も以前に比べ向上しており、編集担当のご苦労は大変なこと思います。やはり会費を値上げしても、現状以上のものを作り、天文教育普及研究会の活動をPRすべきと考えます。

◇PageMaker、クオークでしょうか。数年前より、オッと思う印

刷に驚きましたが。編集、ご苦労様です。

◇いつも、お疲れさまです。皆様の仕事+αで大変だとは思いますが、毎回楽しみにしています。他人事のような書き方で申し訳ありませんが…。

◇天文教育、天文学教育も必要だが、小中の星の学習に関する情報を流して、小中からの会員を導入したり、天文教育の会員となってレベルが高い位置に在ると思わないで、だれにでもわかる星の学習の開発活動を期待したい。現在は天文分野は格別と思われている。そもそも、花があるように、そこに星があるだけである。昼間その星を教える。どうすべき。

◇適度の報酬で仕事を希望する院生はないのでしょうか？

◇編集に限らず、事務局員などにアルバイトを採用してはいかがでしょう。常駐の必要はありませんが、週1・2回程度、学生さんでもいいでしょう。それなりに謝礼を用意すると同時に、それなりに働いていただくということで。

◇編集を担当して下さる方には申し訳なく思っています。不況の中、会員の数を減らさないためにも、できるだけ値上げなどの方法は採らない方がよいと思います。

◇第1回に参加以後、仕事の関係で参加できなくなってしまい申し訳ありません。質問11のことですが、中村や島津といった理科教材の会社に教材を作つて持ち込んでみてはいかがでしょうか。写真集などは、中学では図書室に欲しいと思います。もし何人かで本を作ることができれば、図書室にほしいし、千葉市の理科の先生方にも紹介したいと思います。

◇世の中不景気がいけないのか、天文界は全般に↓傾向。私自身も職場環境が次第に悪くなり、仕事の中での天文普及のできる割合も↓。気持ちも↓です。そんな時だからこそ頑張りが必要なのでしょうが…ツライ。

◇編集委員のみなさんのご努力にはいつも感謝しております。外注自体はさんせいですし、結果的に値上げやむなしとなれば、反対しません。上(会費の現状維持)はあくまで希望です。

◇会のアクティビティを反映しないシステムは1~2年が限度でしょう。チャレンジはよいが、どれによって変化がなければ別の方法を考えています。

◇現在の活動状況(会誌の発行状況)を考えると、会費4000円は割安だと考えます。しかし、これ以上値上げすると、他の人に会員を勧めるのが難しくなりますし、会員の減少につながると思われます。現在の会費でできる活動を探っていくべきと考えます。

◇会費値上げは退会者を増やすと思いますので、できれば思いとどまっていたい。

◇会費の自動振り込みはできないでしょうか？

◇本を創るというのは、とても難しい作業だと思います。批判するのは簡単ですが、実際、人を束ねて物を創るのは大変難しいと思います。今後もいい本を作ることに頑張ってください。いつも楽しみにしています。

◇東京の佐藤明達氏によると、「原稿を次々に送つても、全く『天文教育』に採用されない」と聞いています。佐藤氏が「天界」(東亜天文学会会誌)に書かれている論文を読むと、天文教育関係者が反省させられるような視点で書かれており、よい参考になります。原稿が採用できない納得のいく根拠が佐藤氏に伝えられてないようですが、編集部で再考して下さい。従来の『天文教育』には、こんな内容がなぜ教育なのか?と頭をかしげた

くなるもの、もたくさんありました。漫画を入れるような世の流れに迎合しなくてもよいのではないか。

◇編集ご苦労様です。私自身は貢献しているわけではないので、クレームをつけるつもりはありません。がんばってやっていらっしゃると思います。「天文教育」(研究会)への意見として、やはりどこか自己満足、そしてその自己満足を表現する場になってしまっていると思います。

◇諸般の事情により、値上げはやむなしと考えていますが、素人の外注にどこまでまかせるのか、難しい所ですね。現在は天文の事がわかった編集員が編集されているようですが、不慣れから余計な時間がかかり、かえって経費がかかりたり、内容が悪くなることを危惧いたします。第一線を引退されたような方で、特技を活かせるような方がおられればよいのだろうが。

◇デフレ厳しい現実、?代の支払い、退職年金組は、大きく?をようします。色々な社会的な交際があり、経費が逃げていきます。会員拡大の上でも、現状の会費でやっていただくと、プラスだと思います。原稿が自由な表現で出せれば出したいと思います。

◇現在の編集委員の皆様の作業量は、ボランティアで行うにはあまりにもご負担がおおきすぎるのではないかと推定されます。無理をしてまで、「安くしてクオリティの高いもの」をめざす必要はないと思います。現体制で無理なく行えるような、体制に見合った経費、クオリティ、ページ数があると思いますので、まずはそこからきちんと考えるべきではないかと思います。どのあたりで線を引くかは判断が難しいと思いますが、たとえばページ数を70ページ程度に固定して、その中で、解説記事を1/3、活動報告などを1/3、事務的なお知らせやイベント情報を1/3といった枠を設定して、その結果、支部会報告は3ページ以内で書いていただくとか…、そういういたやわらかな制限を設けた方がよいように思います。

◇DTP外注はしかたないと思いますが、投稿論文をオフセットできるようにしてみてはいかがですか?少なくともテキストから編集者が原稿を作るよりよいと思います。クオリティは投稿者の責任にしてもよいと思います。

◇会則11条によれば、編集委員は役員ではない。運営委員会は編集委員会に気兼ねして、編集には口を出すことはない。従つて編集は編集委員会の善意のみにまかされている(チェック機能なし)。創立後14年経つて、実情に合わなくなつた部分がある。再び会則検討ワーキンググループを立ち上げる時期に来ている。集録の支部別会員名簿は50音会員名簿と重複しており、ムダである。依頼原稿の稿料はいくら払っているのか?

◇いつのまにか編集スタッフが入れかわっていた感がある。交代後の号に(目立つように)紹介ページをもうけては?

◇DTPについて、原稿をTeXファイルで受け付けて欲しいと思います。表紙をもう少し考えてください。(漫画みたいです。天体写真や装置、活動の様子の写真の方がよい。)

◇発行回数等、無理のない範囲で行ってもらえばよいと思います。

◇会員以外に対しての500円は適当だと思いますが、運営費確保のためなら800円くらいでもよいと思います。

◇毎号の編集、お疲れさまです。楽しく読ませていただいています。質を保つて欲しいと思いますが、上記情報だけではどの程度の会費値上げでどの程度の質となるのかが不明で、判断し

かねるところがあります。現在でも、編集委員の献身であってもよいものができる点から、簡単には示せないことかもしれません、何らかの情報を出していただいたらうえで議論を進めていたいたらと思います。さらにwebの活用がもっとできないでしょうか。パスワード保護した領域にPDFを置くことで、冊子版はいらないという人がいるかもしれませんし。また、過去の記事検索が可能になったりするとうれしいんですが、難しい注文ですが、ご検討いただければ幸いです。

◇研究会から学会にし、補助等を受けることはできないでしょうか。

◇「天文教育」誌をテーマに評価委員会が公開の検討会があつてもよいと思います。

◇アンケートや投票などは極力ネット経由でやれば、かなり節約できませんでしょうか？

◇いつも受け身でお世話になるばかりの立場ですので、特に申し上げることはないと、やはり一部の方の大きな負担となっているようならば、多少の会費の値上げはしかたないものと考えます。

◇NPO 法人の検討をしてみてはいかがでしょうか。

◇編集部、事務局の皆様、本当にご苦労様です。名前だけの会員に大変申し訳なく思いつつ「天文教育」を読ませていただいているが、授業のヒントや刺激をいただくことも多くあります。今後、生徒に実習的に取り組ませながら、天文の理解が深まるような実践例などをとりあげていただけるとうれしく存じます。

◇天文教育普及を主目的にしている会なので、特に小中学校における理科教育の充実を図るために（それどころか現在は逆の方向に向かっている）の活動（バカな文部科学官僚の目をさまさせるため）をしては如何でしょうか？教師等が「こんな考え方をしました」という単なる自己満足的な投稿をそのまま会誌に載せるだけではなく（それも必要とは思いますが…）、理科や科学、天文に対する底辺の拡大を図る活動を当研究会の主眼として行うべきではないかと思います。会誌の発行が目的ではないと思うのですが…。

◇いつもご苦労様です。少数の方々でたいへんと思います。ある程度format化して、すこしでも楽にしてください。

◇大変なご苦労だと思います。もっと頻繁にこのようなアンケートを実施したり、現状を訴えていたい方がよいと思います。

◇現在の編集部の方々には大変ご尽力いただいていると思います。皆さんが本務の傍らに編集の仕事ういされていることを思うと、また、次になる人のことも考えると、できるだけ負担を軽くすることは当然のことだと思います。年会に参加できない多くの会員にとって、会誌は唯一といつてもよいものなので、内容や発行回数の削減は、会の目的からいっても望ましくありません。業者委託や会費値上げ等も含めて、編集部の方々が最もやりやすい方法での運営をお願いしたいと思います。

◇会誌が非常によくなつたことは高く評価します。しかし、「天文教育」に相応しい内容にとどめるべきで、他の媒体からも得られる情報は極力省いて、省力化、スリム化をして、安易に会費値上げをすべきではないと思います。小学校の先生でも気軽にに入る会費、内容も考慮する必要があります。

◇会誌としては安く読みごたえもあるのですが、読むものと

してはもう少し気軽なものがよい気もします。ページは少なくとも現在の体裁で発行できるくらいの内容にすれば、外注してもそれ程経費はかかるのではないでしょうか。定期的に発行することは会の継続（活動）から重要です。

◇次の編集委員の候補者（名前だけでなく実戦力となるような）を何名かつねにプールしておく。と書くのは簡単ですが、なかなかこれが大変です。これができるれば、現在の編集委員の1人にしわよせが行ったりしても、すぐに代打、あるいは差し替えが可能になるのですが。

◇なんとかしてもう少し普及の輪をひろげたいですね。もっと参加してもいいような高校はたくさんあります。しかし学校の先生方が存在を知らないようですね。高校レベルでの普及や、塾での天文学の授業も楽しいかもしれません。

◇「原著論文」を最近見ないような気がします。毎号、1本や2本はあってもよいと思いますが…。

◇皆さんの手弁当で運営されていますが（季刊でもよいのではないかと思います）、本当に大変だと推察します。原稿の集まらない学会誌では、年2~3回というところもあります。